

令和7年度

所沢市立中央中学校

交流体験



第3学年

特色

- 第3学年では、家庭科の授業を活用して、赤ちゃんとのふれあい体験を実施している。中学生が、赤ちゃん親子と触れ合うことで命の大切さ・尊さ・温かさを感じ取り、親の気持ちを知り、自分の存在価値を認識し、自分や周囲の人を大切にすることについて学ぶことを目的とした活動である。また、乳幼児の発達について確かめ、かかわり方について考え、実践している。

生徒の感想

- 保護者の育児エピソードや出産時の体験談をたくさん聞くことができました。
- 赤ちゃんと一緒にいるだけで、周囲が明るくなり、穏やかな気持ちにさせてもらいました。

成果

- 生徒は、体験活動の中で赤ちゃんとの接し方や命の大切さを学ぶことができた。また、両親の優しさにも気づくことができた。将来の親になる準備や、親への感謝、家庭の大切さを学ぶ貴重な機会とすることができた。